

学校向け チームビルディングプログラム

多様性ってなに？

他者理解ってなに？

「自分と違う」人たちと 向き合うには？




チームビルディング

多様性・他者理解

コミュニケーション

 100名～400名程度(小学生～大学生)

 2時間～1日程度 (要相談)

 屋内(体育館、大ホールなど)、屋外(グラウンド、公園など)

こんなプログラムをお探しの方におすすめ！

- ✓学年や複数のクラスでできるチームビルディングを行いたい
- ✓楽しいだけでなく、学びのあるプログラムを行いたい
- ✓多様性や他者理解について学びたい
- ✓なにかから始めたらいいのかわからない



「学校向けチームビルディングプログラム」とは

「人と自分は違う」と頭でわかっているけど、**考え方や価値観の違う人たちと理解し合ったり、協力するの簡単でなく、むしろ大変なことです。**

このプログラムはアクティビティを通して、「**人と違っていい、違うって素晴らしい**」ということをもっと**体験し、学ぶことができます。**

未来を担う子どもたちに「**多様性や他者理解、チームビルディング**」を考えるきっかけになるはずですよ。

「学校向けチームビルディングプログラム」の特徴

感染症対策を
行いながら
実施します！

・屋内、屋外どちらでも実施可能！

なかなか遠方に行けないので、学校の敷地内で実施したい、体育館やグラウンド、近隣の公園や施設で実施したいという要望にもお答えできます。

・時間調節、難易度の調節が可能！

小学生向け、大学生向けなど対象に合わせて難易度の調整も可能です。
また2時間で実施したい、じっくり1日かけて深い学びの時間にしたいなど、ご要望に合わせて時間調整も可能です。

・ただ楽しいだけでなく、様々なテーマをチームで話し合うので、より深い学びやコミュニケーションが取れる！

楽しく多様性や他者理解を学べるアクティビティだけでなく、じっくり時間をかけてお互いの考え方の違いや価値観の違いについて話し合うことができます。自分の当たり前が相手にとっては、当たり前でないことを知ることで、これまでより人との関わり方を学べます。

プログラムのタイムテーブル例

小学生向けプログラム例

- 初めて多様性や他者理解について学んでみたい！
- いろんな人とコミュニケーションを取りたい！

チームビルディング難易度：★

10:00 (20分)	導入・アイスブレイカー
10:20 (30分)	アクティビティ① ・あなたはどっち？
10:50 (30分)	アクティビティ② ・なかまを探せ！
11:20 (30分)	アクティビティ③ ・タオルリレー
11:50 (10分)	クロージング ・全体での振り返り
12:20	終了

大学生向けプログラム例

- 時間をかけて深く多様性や他者理解を学びたい！
- 話し合いやコミュニケーションの時間を大切にしたい！

チームビルディング難易度：★★★★

13:00 (30分)	導入・アイスブレイカー
13:30 (30分)	アクティビティ① ・あなたはどっち？ I
14:00 (20分)	リフレクション
14:20 (30分)	アクティビティ② ・なかまを探せ！
14:50 (45分)	アクティビティ③ ・こんにちはミパロン人さん
15:35 (30分)	リフレクション
16:05 (40分)	アクティビティ④ ・あなたはどっち？ II
16:45 (15分)	クロージング ・全体での振り返り
17:00	終了

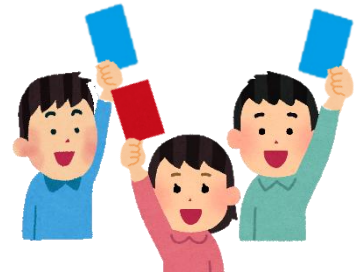


実施アクティビティの内容

あなたはどっち？

「あんこと言えば、こしあん？それともつぶあん？」などの質問にどちらか答えてもらいます。こしあんであれば、赤いカードを上げ、つぶあんであれば青をあげます。数名にそれぞれ選んだ理由を答えてもらいます。

2択の質問から、それぞれの好みや傾向、価値観の違いなどを楽しく学べるアクティビティです。



なかまを探せ！

自分の好きなものや得意分野など、共通するものを探して自己紹介をします。ビンゴ用紙に好きな食べ物、好きなスポーツ、好きな動物などを書きます。相手にお題を質問し、同じものだったら○をします。たくさんの人と自己紹介をして、ビンゴを目指します。

自然に人となりや新しい一面を発見できるアクティビティです。

タオルリレー

ペアになりタオルの端を持ちます。手を使わずに、次のペアにボールを渡します。ボールが落ちたら、最初からやり直します。

ペアだけでなくチームで協力し、ゴールを目指すアクティビティです。

わたしはだれでしょう？

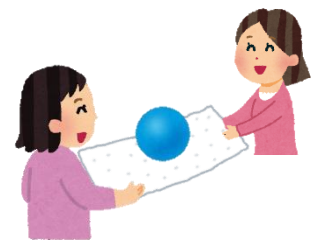
チームの中で一人だけが答えのカードを持っています。他のメンバーは、そのカードに書かれた人やモノをYes、Noで答えられる質問をして、答えを導きます。質問は必ずチームで話し合っで決めます。時間内に多く答えを導き出すことを目指します。

メンバー同士の協力やコミュニケーションが不可欠なアクティビティです。

こんにちはミパロン人さん

ある文化からやってきたミパロン人に対して、YesかNoでしか答えられない質問をして、その文化の特徴を探ります。最終的に自分たちの当たりまえとは、異なる習慣や常識があることを学びます。

違いをどう受け入れ合うかを学べるアクティビティです。



●ご要望・ご質問などはこちらまでお問い合わせください！